

# 塩谷郡市医師会だより

## Contents

- 1 塩谷郡市医師会第70回定時総会
- 2 第4回医師会役員会・第1回医師連盟役員会報告
- 3 平成29年度行事予定
- 4 学術講演会報告

一般社団法人 塩谷郡市医師会  
広報委員会

〒329-1312

さくら市桜野1319番地3

さくら市氏家保健センター内

TEL 028(682)3518

FAX 028(682)5760

## 塩谷郡市医師会第70回定時総会報告

平成29年4月15日(土)さくら市のホテル清水荘で第70回定時総会が開催された。総会に先立ち平成28年度第5回役員会が開かれ、平成28年度の事業報告、貸借対照表、損益計算書等が承認された。定時総会の前に栃木県医師連盟塩谷郡市支部の総会も開催され、平成28年決算、平成29年予算について決議された。

定時総会は定款により選出された戸村議長、大草副議長により議事が進められた。医師会員数99名中出席25名、委任状出席45名、計70名の出席で定足数充足が確認されたことより第70回定時総会の成立が告げられ、その後に平成28年度に物故された香坂三男先生、野沢有臣先生に黙とうがささげられた。岡会長のあいさつの後、阿久津副会長より役員会、総務会、委員会活動などの会務報告があり、その後に議事に入った。



- (1)第1号議案「平成28年度塩谷郡市医師会事業報告並びに収支決算の承認を求める件」
  - (2)第2号議案「平成28年度塩谷郡市医師会貸借対照表及び損益計算書の承認を求める件」
  - (3)第3号議案「平成29年3月31日現在財産状況の報告について」
- の3つの議案は関連した議案・報告であることから一括の審議が行われた。
- 第1号議案の事業報告を岡会長が説明し、収支決算および第2号、第3号議案について会計担当の佐藤

理事が説明した。第1号議案については村井監事から監査報告があった。3つの議案について質疑の結果、賛成多数で承認された。

- (4)第4号報告事項「平成29年度塩谷郡市医師会事業計画並びに収支予算の報告について」

岡会長から事業計画が、佐藤理事から収支予算の説明があった。

- (5)第5号議案 その他

定時総会終了後に、隣室にて懇親会が開催された。阿久津副会長の司会進行で平成29年度入会の在宅ほすびす・渡辺邦彦先生の紹介があり、新しい会員を交えて歓談が行われた。



## I. 第4回医師会役員会・第1回医師連盟役員会報告

平成29年3月13日(月)午後7時00分氏家保健センター一集団指導室にて開催された。

出席者：岡会長、尾形副会長、阿久津副会長、佐藤会計担当理事、軽部理事、村井(成)理事、半田理事、仲嶋理事、植木理事、高橋理事、手塚理事、嶋尾理事、村井(信)監事、森島監事

1. 役員会の前に、  
「栃木県糖尿病重症化予防プログラム」について栃木県保健福祉部健康増進課生活習慣病医療担当福田殿、大塚殿から説明があり協力していただくように依頼があった。
2. 第4回医師会役員会
  1. 議題

塩谷郡市医師会ホームページ/メール	広報委員会編集部	医師会事務局
URL <a href="http://www.tochigi-med.or.jp/shioya/">http://www.tochigi-med.or.jp/shioya/</a> メール <a href="mailto:shioya@tochigi-med.or.jp">shioya@tochigi-med.or.jp</a>	高橋雄二 <a href="mailto:uppaship@fa2.so-net.ne.jp">uppaship@fa2.so-net.ne.jp</a>	糸川 <a href="mailto:kumekawa.shioya@gmail.com">kumekawa.shioya@gmail.com</a> 高橋 <a href="mailto:takahashi@e-shioya.jp">takahashi@e-shioya.jp</a>

(1) 第 70 回塩谷郡市医師会定時総会について・・・平成 29 年 4 月 15 日(土)午後 6 時よりホテル清水荘にて開催される予定。

- (2) 平成 28 年度塩谷郡市医師会事業報告
- (3) 平成 28 年度塩谷郡市医師会決算見込み
- (4) 平成 29 年度塩谷郡市医師会事業計画
- (5) 平成 29 年度塩谷郡市医師会予算書(案)
- (6) 在宅医療連携拠点整備促進事業
- (7) その他

ア. 平成 28 年度地域保健活動推進協議会実施報告  
平成 29 年度同事業計画・・・10 月 22 日(日)矢板市文化会館にて開催予定

イ. 栃木県医師会の入会金について

栃木県医師会の理事会において、他の都道府県医師会の 7 割が入会金を徴収している現状から栃木県医師会でも入会金を新たに設けることについて提案があったが、各郡市医師会に持ち帰り協議することとなった。協議の結果、当医師会理事会としては「反対」とすることで合意した。

## 2. 会議報告

- ・塩谷地区救急搬送検討会議の報告
- ・救急災害医療運営協議会災害医療体制検討部会



## 3. 第 1 回医師連盟役員会

### 1. 議題

- (1) 第 16 回栃木県医師連盟塩谷郡市支部通常総会について
- (2) 平成 28 年栃木県医師連盟塩谷郡市支部決算
- (3) 平成 29 年栃木県医師連盟塩谷郡市支部予算
- (4) その他

さくら市長選・高根沢町長選について

さくら市長選挙：花塚候補の推薦を決定

高根沢町長選挙：自主投票

### 3. その他

- ・医師会の納涼会、新年会の開催について  
宇都宮市内のホテルで開催していた納涼会はより多くの会員が参加できるように各医師団の持ち回り開催とする。平成 30 年 7 月はさくら市で開催。  
新年会は従来通り。

### ・医師会の入会金、会費について

塩谷郡市医師会の会費・入会金については、県内の郡市医師会では最も低い、現在赤字運営のため、数年後に会費の値上げが必要になる見込みであるが、入会金についても値上げを検討してはどうかとの提案があり次年度の検討課題とした。高根沢町医師団では入会金の値上げ等には反対するとした。

## 平成 29 年度第 1 回役員会報告

出席者：岡会長、尾形副会長、阿久津副会長、軽部理事、村井(成)理事、半田理事、仲嶋理事、植木理事、高橋理事、手塚理事、嶋尾理事、村井(信)監事、森島監事



平成 29 年度第 1 回塩谷郡市医師会役員会が 5 月 22 日(月)19 時より塩谷郡市医師会事務室にて開催された。冒頭に会長方針として、岡医師会長より、在宅医療連携拠点整備促進事業、受動喫煙防止条例の要望などに特に力を入れて取り組みたい趣旨の挨拶があった。

平成 29 年度年間計画については次頁別途表参照。

その後各部門の担当理事より今後 1 年間の抱負などの説明があった。その後今回 2 年目となる在宅医療連携拠点整備促進事業について岡医師会長から詳しく口頭にて説明があった。

平成 28 年度には、医師・歯科医師・看護師・施設関係者等による話し合いや事例研究等を行う多職種連携会議が順調にスタートできた。平成 29 年度は、この多職種連携会議を継続し、それ以外の部分についても事業展開の必要性があり、まず医師の在宅医療の取り組みに関するアンケートの実施や訪問看護師との連携強化、住民に対する普及啓発等、取り組む課題が山積しているとして個々の説明があり、着々と確実に進めて行くと話された。平成 29 年度市民公開講座は 10 月 22 日(日)に矢板市文化会館大ホールにて開催される予定。キーナ奏者 Ren さんによるミニコンサートののち基調講演として日本尊厳死協会理事長岩尾総一郎氏の基調講演が計画されている。受動喫煙防止条例の要望のため、会員の皆様には署名をお願いしたい趣旨、岡会長、森島役員より要望があった。戸村先生の閉院や会員の高齢化に伴う塩谷町の在宅休日当番医の今後について説明があった。

## 平成 29 年度郡市医師会行事予定

### 平成 29 年

- 4月15日(土) 第70回定時総会
- 4月24日(月) 第1回総務会
- 5月22日(月) 第1回役員会
- 6月5日(月) 医療機能検討委員会、行政合同会議
- 6月17日(土) 栃木県医師会代議員会
- 9月11日(月) 社会活動委員会
- 9月25日(月) 第2回総務会
- 10月16日(月) 第2回役員会
- 10月22日(日) 第13回市民公開講座(矢板市)

### 平成 30 年

- 2月19日(月) 第3回総務会
- 3月12日(月) 第3回役員会
- 4月14日(土) 第4回役員会  
第71回定時総会

注：委員会については5月20日時点で予定が決まっているものを記載。

## 平成 29 年度学術講演会等予定表

### 平成 29 年

- 5月16日(火) 疼痛勉強会
- 6月13日(火) 糖尿病
- 7月20日(木) 産業医研修会
- 7月21日(金) 過活動膀胱  
(講演会後に納涼会)
- 9月12日(火) がんセンター勉強会 乳癌
- 10月10日(木) 循環器疾患勉強会
- 11月9日(木) 産業医研修会
- 11月14日(火) 消化器疾患勉強会
- 12月12日(木) 脳血管疾患

### 平成 30 年

- 1月19日(金) 未定(講演会後に新年会)
- 2月6日(火) 小児疾患勉強会

注：5月20日時点での予定のため、日程やテーマなどを変更する場合があります。

## 脳卒中・急性心筋梗塞対策専門研修会

「心筋梗塞と生活習慣病」

日時：平成 28 年 11 月 15 日(火)

講師：那須赤十字病院 循環器内科

部長 景山 倫也 先生



症例を交えながら日頃の生活習慣病の管理が虚血性心疾患予防にいかにも重要であるかを再認識することができた。最新のガイドラインから高血圧の治療目標、糖尿病の管理、血糖変動の重要性、高脂血症のエビデンスや新薬 PCSK-9 阻害

薬に到るまで盛りだくさんの内容をわかりやすくお話しいただいた。(北條行弘)

### 学術講演会 I

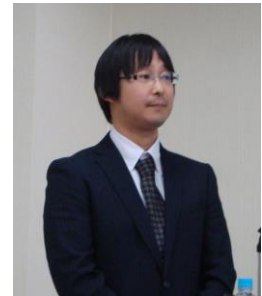
「糖尿病神経障害の病態と薬物療法の現状について」

日時：平成 28 年 12 月 6 日(火)

講師：獨協医科大学 内分泌代謝科

城島 輝雄 先生

糖尿病神経障害は、合併症の中でも早期に出現し、頻度も高く多彩な症状を呈し、日常生活を著しく障害する。発症要因としてポリオール代謝亢進などの代謝障害や、微小血管障害が考



えられる。病態は glove-and- stocking 型の知覚障害が多く、神経長依存性に下肢から障害される。自律神経障害による心血管系・消化器系泌尿生殖器系の障害が認められ、心・呼吸停止による突然死のリスクも高まる。治療は血糖コントロールと代謝異常の是正、消炎鎮痛剤・抗うつ剤・抗けいれん剤・抗不整脈剤・アルドース還元酵素阻害剤・プレガバリンなどの薬物治療が中心である。さらに確実な効果を期待できる薬剤の開発が望まれる。(仲嶋秀文)

### 主治医研修会

「認知症の正しい知能検査と最近のトピックス」

日時：平成 29 年 1 月 20 日(金)

講師：佐藤病院 院長 佐藤 勇人 先生



認知症診断で行われる知能検査に際し施行者の心構えや検査を行う環境設定の大切さや改訂長谷川式簡易知能評価スケールの具体的な検査の進め方、また判定に際しては点数よりもどこが出来なかったが大切な事をわかりやすく説明して頂きました。最近

のトピックスとして平成29年3月より施行される道路交通法改正のポイントも解説して頂きました。講演会の後、新年会が開かれ和やかなムードの中で各会員の近況などが報告されました。(佐藤 泉)

### かかりつけ医認知症対応力向上研修会

日時：平成29年1月24日(火)、1月31日(火)  
講師：阿久津医院 院長 阿久津 博美 先生  
栃木県主催で毎年開催しています「かかりつけ医認知症対応力向上研修会」は、今年、阿久津先生が講師となり2日間開催され多くの受講者が終了証を交付されました。



### 学術講演会II

「脂肪萎縮症の病態から考える肥満2型糖尿病の治療戦略」

日時：平成29年2月7日(火)  
講師：自治医科大学 内分泌代謝科 准教授 海老原 健 先生



脂肪萎縮症は全身性あるいは部分的に脂肪組織が消失する疾患で、重度の糖尿病や高中性脂肪血症、非アルコール性脂肪肝炎など様々な糖脂質代謝異常を発症する予後不良な難治性疾患である。この疾患の患者に、視床下部に作用して食欲抑制とエネルギー消費亢進させる坑肥満ホルモンであるレプチンを投与したところ、インスリンをはじめとする糖尿病薬や高脂血症薬の中止または大幅な減量が可能となった。このことから、今後一般の肥満や2型糖尿病に対しレプチンの臨床応用が期待されるという、大変興味深い講演会であった。

(植木雅人)

### 学術講演会III

「非専門医が知っておきたいうつ病治療と新規抗うつ薬」

日時：平成29年3月7日(火)  
講師：自治医科大学 精神医学教室 主任教授 須田 史朗 先生

要約：

- ・精神医学の歴史
  - ・現在増えている心の病気(発達障害、自閉症、摂食障害、認知症、うつ病等)
  - ・現代女性のやせ願望による低栄養状態から来される精神疾患発症リスク(自閉症、ADHD、気分障害、精神遅滞、パーソナリティ障害、統合失調症等)
  - ・全国の自殺率の比較
  - ・うつ病の有病率、性差、疫学、診断の問題(うつ病の多様化や双極性感情障害との鑑別等)、臨床症状、薬物療法、非薬物療法(認知行動療法、TMS、全身温熱療法等)、最近のトピックス等
- 以上のように精神医学の歴史に始まり、うつ病の最新のトピックスや治療法等、幅広く多岐にわたり講義いただいた。(松村 茂)

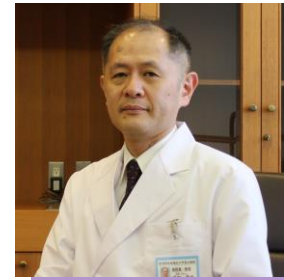


### \*新入会員紹介

平成29年4月1日入会



在宅ほすびす  
院長  
渡辺 邦彦 先生



国際医療福祉大  
塩谷病院 病院長  
須田 康文 先生

### ※事務所のメンバーが変わりました!



川島千春  
コーディネーター



塩谷・南那須地域産業  
保健センター  
小林章一 コーディネーター

(在宅医療連携拠点整備促進事業担当)